

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否 か(就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	一回りし て完全回 復	一服し て完全回 復	体温	患者の記 憶	悪寒発作 症等の既 往	嘔吐発作 症等の既 往	光に對 する反 応	他剤に よる「異 常な行 動」の 副作用	異常な 行動に 関する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見たのか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたように言っているのか?)	旧資料No
1	B07002190	1	年	女性	①解熱 ②嘔吐 ③過量投与	2007/3/12	18:00	—	—	—	12時間	No	発熱持続	—	No	No	No	No	—	3月12日(19:00)嘔吐発現。量が多い。内服後、嘔吐が出現したことを内服させた 祖母が不信に思い薬局に問い合わせたところ、量の間違えが確認された。 (20:00)嘔吐発現。	4
2	B07027258	1	年	男性	異常行動	2008/2/2 2008/2/3 2008/2/4 2008/2/5	2008/2/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/02/02(11:30)インフルエンザA型治療のため、本剤(18mg×2/日)処方。他 方薬を受け取り、帰宅後すぐ服用。1回目の服用後に症状(暴れる)が発現。暴 れて手がつけられなかった(異常行動)発現。同日2回目の服用中止。 2008/02/05 本剤服用終了。 不明 暴れて手がつけられなかった(異常行動)回復。	
3	B07001353	2	年	女性	①異常行動 ②筋力低下	2007/4/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4月1日(午前)本剤服用。(昼食後)両下肢脱臼、大声で叫ぶ症状が発現。本剤服 用後、程なくして、立って歩こうとするがフラフラしてすぐに転ぶ。大声で叫ぶの2 つの症状が出現。母親は、娘の通常と違う異常に驚くも、特に何もせず経過観 察した。異常行動は、覚醒時に起こった様子。	5
4	B08000404	2	年	女性	発熱・嘔吐のなさ	2008/1/30~	1日2回	2008/1/31	0:30	○	Yes	—	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	008/01/30 (午後)インフルエンザA型治療のため、本剤21mg×2/日投与開始。 2008/01/31 (0:30)漸く涼んで覚醒し暴れた。不穏状態(非重篤)発現。 30分位で落ち着いて入眠。不穏状態 回復。	
5	B07027820	2	年	男性	異常行動 悪寒	2008/01/18 2008/01/19 2008/01/20 2008/01/20	2008/1/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	No	2008/01/18 A型インフルエンザに対して、本剤60mg×2回/日処方。午後より 服用開始。(夜)異常行動発現(非重篤)。寝ていると思ったらびくびくして突然飛び 上がった。怖がり震えたりした。 2008/01/19 38℃まで解熱。その後、本剤服用続けたが(〜1/20)、そのような症 状は出現せず。 2008/02/01 再診にて回復を確認。	
6	B08000403	2	年	女性	①発熱 ②異常行動 ③過熱	2008/3/1~ 2008/3/4	1日2回	2008/3/2 2008/3/3	18:30 午後	×	No	—	—	No	発熱持続	No	No	No	—	2008/03/01 (19:40)本剤内服。 2008/03/02 (7:40)本剤内服後、部屋の隅でじっと座って話かいても返事をしない。その後顔 紅。(18:30)本剤内服後、母を叩く、物を投げる、空中を指差し、「取って、取って」と 叫んだ。熱発。 2008/03/03 腹痛、軟便あり。 (午前)本剤内服。 部屋の隅でじっとしていた。顔紅。 (午後)本剤内服後、母を叩く(空中の物を払う様な動作)。熱発。 2008/03/04 (午前)本剤内服。 部屋の隅に座っていた(ふさぎ込んだ様子) もう一つ元気がない。 本剤中止)。その後熱発症状は見えなくなった。	熱性痙攣
7	B08002519	2	年	女性	異常行動	2008/3/10 2008/3/11	PM AM	2008/3/10	17:30	○	Yes	—	—	—	解熱過程	No	No	No	No	2008/03/10 体温39.8度。インフルエンザウイルスAB混合(サンプル採取箇所:不明)。 本剤23mg×2粒口投与開始(2008/3/10AMは服用なし、PMに服用)。 (17:30)本剤服用後、1時間経過、ぐっすり眠る。1時間経て、目覚めて、布団を丸 めて起きて玩具を投げる(人が変わったように)。異常行動(1)(非重篤)発現。 2008/03/11 (AM)本剤23mg服用。(PM)本剤投与せず。その後本剤中止。 2008/03/13 (1:30)急に泣いて起き上がり、軍曹やテレビを指さす。5分後に再び眠る。異 常行動(2)(非重篤)発現。 2008/03/14 異常行動回復と判断。	—
8	B06026823	3	年	男性	幻覚	2007/3/1	11:00	2007/3/1	14:00	×	No	0.5	10分~20 分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	2007/3/1 遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えた。	6
9	B07023545	3	年	男性	異常行動 情緒障害	2008/1/24	10:30	2008/1/24 2008/1/24	11:40 11:40	×	—	—	不明	Yes	発熱持続中	No	No	No	—	2008/01/23夜 発熱が治まる。 2008/01/24 39.8℃のため、他施設にて本剤処方。(10:30頃)タミフル服用。(11: 30頃)熱性痙攣を起し、当施設に搬送。経過観察のため入院。(11:40頃)痙攣収 束後に意識の反応は認められず、手足を興奮した様子で動かし、目線は何かを追 随する様に動き、口をモグモグ動かし、発熱を全く認めなかった。行動異常 (非重篤)・発熱(非重篤)・痙攣(非重篤)発現。抗痙攣薬ジアゼパム(坐薬)使用し入眠。自 然覚醒後・異常行動は無く、発熱も認め通常状態となった。行動異常・発熱・痙 攣 回復。 2008/01/25 処方施設に本剤処方量(35mg×2回/日)を確認。	熱性痙攣 (2008年)
10	B07025438	3	年	男性	痙攣 異常行動 痙攣	2008/2/7	12:00	2008/2/7 2008/2/7 2008/2/7	12:20	○	—	20分	—	Yes	発熱持続 中	No	No	No	—	2008/02/07 (12:00)A型インフルエンザ診断にて、本剤30mg内服。(5分後)痙攣 (非重篤)あり。臥床していた。(20分後)痙攣を止まり、白目になり痙攣の様な暴 れ出した感じが2~3分続き、その後元気に動けなくなった。異常行動・痙 攣症状 発現。発熱40.2℃。来院時、症状消失し、意識もしっかりしていた。痙攣・ 異常行動・痙攣症状 回復。	—

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	症別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復ま での時間	一服し て完全回 復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	薬剤に よる「異 常な行 動」の 副作用歴	異常な 行動に 関する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたよと書いているのか?)	旧資料No	
11	B07000152	4	年	女性	痙攣	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	口から泡を吹いているような状態。目は真っ青。唇はチアノーゼが出ていた。目は開いているがぼんやりしており、両腕の関節にけいれんが起った。	10	
12	B05026808	4	年	女性	異常行動	2007/3/4	12:00	2007/3/4	17:00頃	×	Yes	5	No だらだらと 続く 3/4量 (17:00~) 翌朝	No	発熱持続	-	No	No	-	No	無し	つづまの合わないことを話したり、意味不明の言動があった。この時発熱あり。	7
13	B07000101	4	年	男性	①痙攣 ②幻覚 ③頭痛 ④痙攣 ⑤異常行動 ⑥視覚障害 ⑦浮動性めまい ⑧意識レベルの低下	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/4	午前 18:00~ 19:00 7:00~ 8:00 7:00~ 8:00	2007/3/7	7:30	-	Yes	-	-	Yes	解熱過程	-	No	-	-	No	無し	3月3日けいれん、意識レベル低下(非重篤)発現。 3月4日熱がさがる。 3月6日ふらつき、頭痛あり。(12:30)「目の前が真っ暗、見えな」という。診察時には瞳孔あり。幻覚、視覚異常、ふらつき、痙攣を発現。 3月7日(7:30)強いめまい、(痙攣)の病を指示してあそこには何かがあるから痛い」と言う。入眠し、起きた時には訴えなし。	9
14	B07000067	4	年	女性	痙攣	2007/2/28	12:00	2007/2/28	13:00	×	Yes	1	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無し	痙攣	8
15	B07000285	4	年	女性	痙攣	2007/3/13 2007/3/13	12:30 13:15 13:15 15:00 20:00	2007/3/13 2007/3/13	13:15:00 20:00	-	-	-	7時間 発熱性痙 攣が起 き7時 間後に回 復	Yes	-	No	No	-	No	No	-	2007/03/13 (12:30)インフルエンザ予防のため、本剤36mg内服。 (13:15)嘔吐。けいれん重篤発現(非重篤)。25分間、両上下肢を伸展強直させる 発熱けいれんが持続。救急車受診。 自然鎮静、意識不明、呼吸反応なし。 当院紹介、JCS3-10程度。 (15:00)ダイアップ坐薬6mg投与、ルートキーブ。 7時間後に両腕と両足を動かすことができるようになった。 (23:00)ダイアップ坐薬投与。 2007/03/14 けいれん重篤回復。 2007/03/19 退院。	13
16	B07000201	4	年	女性	①痙攣 ②間代性痙攣 ③嘔吐 ④意識レベルの低下	2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18	朝 夕 朝 夕	2007/3/18 2007/3/18	9:00 内服後	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	-	内服後、うわ言、痙攣、嘔吐。夕方、回復、嘔吐したためもう一度タミフルを服用させる。朝と同じ症状(うわ言、痙攣、嘔吐)⇒その後再び就寝。	11
17	B07001807	4	年	女性	痙攣	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	-	-	-	-	-	-	30分	Yes	解熱後	-	No	No	No	No	-	3月23日(23:30)30分くらいの「発作」。引付なのか悪夢をみたのか、よく分からないと母。(3:00)ひきつけ回復。その後は少しうなり声を上げながら眠ってしまった。	16
18	B07001869	4	年	女性	①幻覚 ②痙攣	2007/2/28 2007/2/28	11:00 21:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2月28日(22:00)全身痙攣5分間。意識あり、やや軽い痙攣。(23:00)39.5℃。全身痙攣5分間。意識あり、やや軽い痙攣。(24:00)痙攣5分間。 3月1日(18:00)痙攣4分間。意識あり。痙攣後、幻覚あり(ママの目が真っ赤でこわいという) (4:00)痙攣2分間。幻覚あり(ママの目が赤い、パジャマに丸いシオがついていると指差して言う。	14	
19	B07001747	4	年	女性	①幻覚 ②痙攣 ③意識異常状態	2007/3/29 2007/3/30	16:00 8:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月29日(16:00)意識障害、幻覚発現。体温39.6℃。「明日おっぱいを飲みに行く」等、意味不明なことを言い出した。(18:00)痙攣発現。(18:50)救急車にて病院へ。到着時は意識ははっきりしていた。帰宅後も、頭痛、腹痛、嘔吐あり。「顔をどつてくれ」と訴えていた。本剤1回目投与から、朝まで記憶がなかった。	15	
20	B07000243	4	年	男性	①異常行動 ②痙攣	2007/3/31 2007/3/31 2007/3/31 2007/4/1	13:00 20:00 7:30	2007/3/31 2007/3/31	14:00 20:30	-	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	(低血糖) ①突然笑い出す。 ②両眼球が左上向き、口をバクバクする。呼びかけに応じない。唇の色が悪くなった。	12	
21	B07027782	4	年	男性	異常行動	2008/2/28 2008/2/28	午前 午後	2008/2/28 2008/2/29 2008/3/1	不明 夜 夜中	○	-	-	-	-	解熱後	-	No	No	No	No	-	2008/02/28 インフルエンザA型治療のため本剤処方。(午前)本剤服用。起床してギャンと泣いた。異常行動(非重篤)発現。(午後)本剤服用。夕方解熱剤を服用。夜もギャンと泣いた。 2008/02/29 発熱下がった。夜ギャンギャン泣いた。顔をぶつけてくる感じがあった。 2008/03/01 夜中急に泣く(いやだーと書いてすぐ泣く)。ほったたいたいても起こすが本人は泣いたことを覚えていない。その後本剤中止。 2008/03/02 特に何事もなし。異常行動 回復。 2008/04/14 父親より、服用中止してから全く異常なく、健康とのこと。	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃな い:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復ま での時間	一服し て完全回 復	体温	患者の記 憶	痙攣発作 症等の既 往	痙攣発作 症等の家 族歴	光に對す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の 副作用歴	異常な行 動に關す る既往歴	(例:幻覚については具体的に何が見たか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料No.		
22	B08003759	4	年	女性	異常行動	2007/3/17~ 2007/3/19	1日2回	2007/3/17	15:00	○	—	—	Yes	発熱持続	No	No	—	—	—	—	2007/03/17 インフルエンザA型と診断。 (12:00)本剤服用。 (15:00)間歇し、意味不明の言動あり。異常行動・異常言動発現と判断。 (17:00)突然起きだし、シグシグ泣く。一点凝視し、震える。おびえた様子。「こわい 夢を見た」と言う。 (17:15)当院へ母よりTELあり。「子供のそばを離れないように。様子がおかしい 時はだっこするように。本剤服用が心配なら中止してもよい。」「医師不在のため ナース対応」 (18:00)部屋の角を衝きし泣きだす。 その後も本剤服用続けるが、異常行動は見られず。回復と判断。		
23	B08027288	4	年	女性	異常行動	2008/12/23 2008/12/24	1日2回	2008/12/24	22:00	×	—	—	No	解熱過渡	No	No	—	No	—	—	2008/12/23 A型インフルエンザ治療のため本剤75mg投与開始(→2008/12/24)。 2008/12/24 (22:00頃)異常行動発現。急に寝しがり、急に泣き出すとともに、やってない のに「おり紙」をおるまねをし始めた(ひるにやっていたのを思い出した様子)。当 科救急外来を受診した際も、ボーっとしており機嫌もやや悪かったため、そのま ま入院とした。入院後補液(ナリタT1、T3)及びリレンザ(12/25~3日間服用)を 開始した。 2008/12/25 解、症状は消失しており、経過良好。2008/12/28 退院となった。 異常行動の転帰:回復		
24	B07000148	5	年	男性	①痙攣 ②意識レベルの低下	2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/15	—	—	—	—	痙攣は10 秒程度 顔色は1 時間半程 度	Yes	解熱後	No	—	Yes	No	No	無	幼稚園で約10秒程度、真っ青になりボーっとしてて痙攣を起こしていた。顔色 の悪い状態は、約1時間半続いた。(幼稚園保育士から母親が聞いた話)	20		
25	B07000090	5	年	女性	異常行動	2007/2/25	—	2007/2/25	—	×	No	—	No	発熱持続 解熱過渡	—	No	No	—	No	無	「何者かに追われている」との発言。	18	
26	B07000110	5	年	男性	痙攣	2007/3/19	19:20	2007/3/19	20:00	—	—	—	—	—	No	—	No	—	無	痙攣(白目をむく発作)	19		
27	B07000282	5	年	男性	①痙攣 ②幻覚	—	—	—	①11:00 ②14:00	—	Yes	—	14時間	No	発熱持続	No	No	—	Yes	No	無	①口を噛むようなしびれを繰り返す。 ②多分、幻覚、物を取るようなしびれを発現。	21
28	B07002264	5	年	男性	異常行動	2007/4/3 2007/4/4 2007/4/4	(夕) (朝) (夕)	—	—	—	Yes	—	1時間以 内	Yes	発熱持続	No	No	—	No	No	4月4日(21:00頃)就寝していたところ急に足をバタバタさせ、その後「おしこに行 きたい」と騒ぎ出し、床頭をすませた後走って戻り、何か早口で喋り(家人に 内容は分からなかったとのこと)再度就寝。異常行動の疑い(非重篤)発現。 (22:00)その行動があまりに平素の様子と違ったため、異常行動ではないかと当 院救急受診。受診時意識清明、見当識良好、神経学的異常所見なかったが、 家人の心配が強いため、入院の上経過観察とした。	23	
29	B07001738	5	年	男性	異常行動	2007/4/6	19:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(19:30)気分高揚発現。踊ったり飛んだりしたが、そのまま様子を見ていた。	22		
30	B07024540	5	年	男性	異常行動 幻覚	2008/1/12 2008/1/12	— 17:00	2008/1/12 2008/1/12	18:00 21:50	○	—	1時間	10分	Yes	発熱持続中	No Yes	Yes	No	No	—	2008/01/11 (午後)38.7℃で受診。患者の保育園でインフルエンザが流行。キッ ト陰性。咳があり、気管支炎より診断。もともと喘息あり、ジスロマックとダイア ップ座薬を処方。翌日も熱があれば通院するよう指導。 2008/01/12 40℃の熱で受診。キットにて微かにA型陽性のため、タミフル45mg ×2回、メブチン、ムコダイン、アスピリン処方。昨日処方のダイアップも使用した とみられる。(17:00頃)タミフル内服。(18:00~18:10)両眼が異常なまばたきを始 めた。特に左目。(21:50)全身のふるえが起こり、泣き叫んで部屋の中に目玉 がたくさんあると言いつづけた。(22:00)10分くらいで症状はおさまった。家人が心 配し、喘息でかかっている他院を受診。経過観察等で入院となった。 2008/01/14 (朝)退院。 2008/01/15 解熱。 2008/01/16 再び熱がでたため、当院受診。異常行動は1/12のみとのこと。		
31	B07024355	5	年	男性	痙攣 大発作痙攣	2008/3/9	10:00	2008/3/9	13:30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/03/08(21:00) 38℃の発熱。座薬を使用。 2007/03/09 近医でインフルエンザAと判明し、本剤を処方され、10時に内服。 13時半に、「ちがう。ちがう」等うわごとを言う。15時、嘔吐、軟便あり。16時、ス ポーツドリンクを 200 ml 飲んで、2-3分後、急に起き上がり、嘔吐した。全身強 直性間代性けいれん、約2-3分。救急車で搬送。		
32	B07028058	5	年	女性	異常行動	2008/2/8	17:00	2008/2/8	18:00	×	—	—	6時間	Yes	発熱持続中	—	No	—	No	—	2008/02/08 (17:00)本剤36mg内服。(18:00)異常行動発現(非重篤)。大声を出 す、ふすまを破るなどした。(24:00)異常行動回復。家族の判断で本剤内服中 止。		
33	B07000002	6	月	男性	痙攣	2007/2/11	15:00	2007/2/13	16:00	×	No	—	7時間	No	発熱持続	No	No	No	No	無	痙攣が起きたため入院。	1	
34	B07002053	6	年	女性	強直性痙攣	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27	—	—	—	—	—	—	5分	—	発熱中	—	—	—	—	—	2月28日痙攣(非重篤)、声を出す(非重篤)発現。	27	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一服し て完全回 復	体温	発熱の記 録	既往症 等の既往	既往症 等の家族 歴	光に對 する反 応	聴力に よる「異 常な行 動」の 副作用歴	異常な 行動に 関する 既往歴	(例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたかどうか?)	旧資料No
35	B07001808	6	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19	夜 朝 夕 朝	—	—	—	No	—	Yes	No	発熱持続	No	No	No	—	No	—	3月17日(本剤内服1-2時間後)異常行動発現。寝たままでも最初手足をピクピクさせ、ワーンと大声で泣き叫び、全身の筋肉を硬直させ、目は大きく見開いて一点を凝視していた。このような異常反応が2-3分続き、この反応中は意識不明で、母親がいくら呼んでも反応しなかった。5分位更に母親が子供の名前を呼び続けると、やっと気づいて意識を回復した。その後も、ぐったり、泣いたりして熱狂している様子ではなかった。 3月18日(本剤内服1-2時間後)寝たまま、まず手足をピクピクさせワーンと大声をあげて泣き叫び、全身の筋肉を硬直させ、目は大きく見開いて一点を凝視していた。このような異常反応が2-3分続き、この間は、意識障害のため、母親がいくら呼んでも正常には答えなかった。約5分後に、やっと母親の叫び声に気づいた。(夕方)41℃の高熱があったため、本剤88.1mgを内服させたところ、再び熱な	25
36	B07002054	6	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	—	—	—	No	—	—	Yes	解熱過程	—	No	No	Yes	No	—	3月19日(本剤内服後、おかしな発言を繰り返すにわいこわいといっている)。睡眠中、夜には一度熱が下がり、症状は落ち着く。 3月20日朝から再び発熱。本剤は内服しなかったが、気分高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた(指とんと覆っていない時に発露。指はさみの刃にはさみで妹の指を傷つけた)ほとんど寝ていない時に発露。眠いはずなのに寝なかった。	26
37	B07000278	6	年	男性	異常行動	2007/3/20 2007/3/20	午前 夕	2007/3/21	10:00	—	—	—	2-3分以内、最くも10分以内	—	解熱過程	—	No	No	No	No	無	2007/3/19 (夜)発熱あり。咳嗽なし。 2007/3/20 (午前)インフルエンザA型性。本剤、コカル処方(経過中コカルは服用せず)。午前と夕に本剤服用。(44mg×2/日) 2007/3/21 (朝)解熱していた。(10:00頃)朝の本剤を服用する前にたんに登り窓を開けようとして騒いでいた。父親が発見し、抱きかかえ「どうしたのか?と聞いたところ「窓が開かなかった」と言った。意識は開けようとしたかは不明。異常行動(非重篤)発現。(11:43)再度受診(この時点ではすでに異常行動は回復している)。2日間は息を止めて目を離さないように指導して、本剤を継続することにした。(11:50)異常行動回復。 2008/01/12 インフルエンザ治療のため、本剤(48mg×2/日)投与開始。興奮症状(非重篤)が発現。 2008/01/16 本剤の投与状況不明。興奮症状の転帰不明。	24
38	B07022878	6	年	—	激越	2008/1/12	—	2008/1/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/01/12 インフルエンザ治療のため、本剤(48mg×2/日)投与開始。興奮症状(非重篤)が発現。 2008/01/16 本剤の投与状況不明。興奮症状の転帰不明。	
39	B07023193	6	年	女性	異常行動	2008/01/13 2008/01/13 2008/01/14 2008/01/14	昼 夕 朝 夕	2008/1/14	23:00	○	Yes	1時間30分	不明	Yes	不明	No	No	—	No	—	No	2008/01/13(未明)インフルエンザ発症。(午前)体温:39.3℃。解熱剤を2回使用。(11:00)救急センター受診。(13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤40mg×1/回の投与開始。すぐ解熱。(19:30)本剤40mg×1/回投与。 2008/01/14 (8:00)本剤40mg×1/回投与。(20:00)本剤40mg×1/回投与。(21:30)就寝。この時点まで異常を認めず。(23:00)異常行動(睡眠時遊行症)発現。「お母さん、お母さん」と寝言を言い出す。その後閉眼したまま、手で目をこめめ様子動作→手足をバタバタさせる動作が約1時間持続。父が振り返ると驚きその後は異常は認めず。体温未測定。 2008/01/15(午前)外来受診時にも異常は認めなかったが無処置。異常行動(睡眠時遊行症)回復。体温:36.4℃。インフルエンザの転帰:軽快・回復	
40	B07000157	7	年	男性	不安	—	—	—	—	×	Yes	—	3時間	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	—	目を覚まし、お母さんには何も見えないところを指差し「見える」と言って身震いをしながら泣いていた。視線は、宙を見ている様子だった。母親が向かい合って抱っこをして捕まえていた。放せば逃げ出したであろうと思われるので、一晩中そのままにしていた。ずっと同じではないが、時々指を差しては怯えてもぐもぐ泣いた。	31
41	B07000075	7	年	女性	幻覚	2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17	17:00 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/12	19:00	○	Yes	—	10分	Yes	—	Yes	No	No	No	No	無	・寝ていて急に笑い出し、その後泣き出した。 ・「お父さんとお母さんが自分の体の上をジャンプしていった」と言う。	30
42	B07001350	7	年	男性	激越	2007/3/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤服用1時間後、30分間泣いたり、父親に殴りかかった(叩いた)という異常行動発現。その後、異常行動は治まり、以後、本剤2回服用したが異常行動はなかった。	33
43	B07001812	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月20日就寝後に手をばたばたさせて、イヤダイヤダと騒ぐ 3月21日前夜と同様のエピソードが2時間おきの頻度で発現。	35
44	B07000277	7	年	男性	不安	2007/3/26 2007/3/27 2007/3/27 2007/3/28 2007/3/28 2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/3/31	19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 8:00 19:00 19:00 昼頃	—	—	○	Yes	—	12時間	No	解熱過程	No	No	—	Yes	No	—	3月31日 12時ごろ起床し、本剤服用。1時間後、不安発現。20時ごろ他院に来院し22時就寝。翌日回復。	32

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一眠りし て完全回 復	体温	患者の記 憶	悪眠覚 醒時の既 往	悪眠覚 醒時の家 族歴	悪眠覚 醒時の 状況	先に対 する反応	他剤によ る「異常 な行動」の 副作用歴	異常な行 動に属す る既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No
45	B07001811	7	年	男性	意識障害状態	2007/3/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤2回目服用1時間後、意識障害発現。意味不明な発言、突然笑い出すなどの症状。	26
46	B07001665	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2007/2/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月20日異常言動、幻覚発現。	34
47	B07026573	7	年	男性	異常行動	2008/01/31 2008/01/31	11:30 21:00	2008/1/31	17:30	×	—	—	不明	Yes	発熱持続中	No	No	Yes	—	No	No	No	2008/01/31 (11:30)本剤1回目内服。(17:30)手もみせたり、腕組みをくり返す。祖母の洋服を意味なくひっぱたり、祖母に汚い言葉を投げかける。近医再診。当院紹介受診し入院。この間本人の記憶なし。入院後、異常行動はなし。 (21:00)本剤2回目内服。体温:38.6℃ 2008/02/01 解熱。 2008/02/02 退院。	
48	B08002921	7	年	女性	異常行動	2008/3/8~ 2008/3/10	1日2回	2008/3/11	1:00 4:00	○	Yes	2時間30分	30分	①No ②Yes	解熱後	No	No	No	No	No	No	No	2008/03/08 本剤1.2g×2/日(オセルタミビル35mg×2/日)経口投与開始 2008/03/11 (1:00 ADR1回目)持続時間:30分 睡眠中に、突然、四つん這いになって、左足は蹴りながら異様な唸り声(おなかの奥底から唸っている様な)でウオーウオーと叫び続ける。名前を呼びかけても体を押さえても全く反応せず、吠え続けている様。最後に普通の泣き声になり(2~3分の短時間のみ)睡眠状態となる。 その2~3分でも弱まり、声も弱々しくなった。 祖母はこの状態で起き上がり、置かれたら自分では制止できないのではと、とても不安になるぐらいが入っていたとの事。 (4:00 ADR2回目)持続時間10分間 起き上がる事はなかったが、両足で布団を蹴り、ダブルベッドの祖母が休んでいる反対側に隣に横になっている祖母を乗り越えて「布団を落としてしまった。その間、ずっと「ダメよ!イヤよ!」という言葉繰り返していた。その後、ずーっと睡眠となる。 (9:00)起床。普段と変わらない様子で「おはよう」と起きてきた。 (9:30)祖母より電話連絡あり。担当医に報告。本剤服薬中止の指示を出す。 異常行動はその後認められないため、回復と判断。	
49	B08002921	7	年	女性	異常行動	2008/3/8~ 2008/3/10	1日2回	2008/3/11	1:00 4:00	○	—	—	—	No	解熱後	NO	No	Yes	No	—	—	—	2008/03/11 (1:00 ADR1回目)持続時間:30分 睡眠中に、突然、四つん這いになって、左足は蹴りながら異様な唸り声(おなかの奥底から唸っている様な)でウオーウオーと叫び続ける。名前を呼びかけても体を押さえても全く反応せず、吠え続けている様。最後に普通の泣き声になり(2~3分の短時間のみ)睡眠状態となる。 その2~3分でも弱まり、声も弱々しくなった。 祖母はこの状態で起き上がり、置かれたら自分では制止できないのではと、とても不安になるぐらいが入っていたとの事。 (4:00 ADR2回目)持続時間10分間 起き上がる事はなかったが、両足で布団を蹴り、ダブルベッドの祖母が休んでいる反対側に隣に横になっている祖母を乗り越えて「布団を落としてしまった。その間、ずっと「ダメよ!イヤよ!」という言葉繰り返していた。その後、ずーっと睡眠となる。 (9:00)起床。普段と変わらない様子で「おはよう」と起きてきた。 異常行動はその後認められないため、回復と判断。	
50	B08029841	7	年	女性	①舞踏病アテーゼ ②精神症状 ③無力症	2008/12/12~ 2008/12/18	1日2回	2008/12/18 2008/12/19	夕 11:30	×	—	—	—	—	解熱後	—	—	—	—	—	—	—	2008/12/13(朝)本剤37.5mg投与。 2008/12/18 解熱し元気になった。この頃から周囲が困惑するような不自然な過剰行動がみられていた。 2008/12/19(11:30) 院内学級で興奮状態。歩行困難となり病室へ戻る。 多事感や急に泣き出すなど感情失調あり。 指示は理解するが、従合せず、全身性に脱力。アテーゼ様運動あり。 ベッドでもじっとしていられない。 (12:20) アタラクシアP、ドルミカムなど投与し、鎮静。入院する。 急性ウイルス性脳症、MTX脳症などを疑い髄液検査、頭部MRI、血液検査を行っても原因を示唆する異常所見なし。 (15:00) 覚醒。やや興奮状態は続くも、不随意運動は消失。 2008/12/20(7:30) 起床時には昏睡の状態に戻る。	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:X)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復ま での時間	一眠りし て完全回 復	体温	患者の記 述	呼吸器病 等の既往	循環器病 等の既往	光に對 する反応	聴覚によ る「異常な 行動」の 副作用歴	異常な行 動に關する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたように言っているのか?)	旧資料No		
51	B08025787	7	年	女性	幻覚	2008/12/20	—	2008/12/20	16:40	○	Yes	1時間	—	—	No	—	—	—	—	—	2008/12/20 (15:10)本剤服用しテレビを見ていた。 (16:40)入眠する。幻覚発現。 (17:40)大声で笑っている。舌をべりべりしながら大笑し足をばたばたさせている ので祖母が足をさした。「今、大変なことが起きているよ」という。 (17:55)大笑いがおさまり入眠する。 (20:55)「大変なことが起きているよ」「サンタのおじさんがトナカイに乗って来ている よ」という。眼球は一点を注視していたとのこと。 2008/12/21 起床後は異常行動なし。前日の記憶なし。 幻覚の経緯:回復		
52	B07000184	8	年	男性	①痙攣 ②ジスキネジー ③意識レベルの低下	—	午前中	—	服薬から 30分	×	Yes	—	Yes 5分	Yes	発熱持続	—	No	No	—	No	—	当院から帰宅後、「ポケモン」を見ていたが、母親からの問いかけに返事無し。 服薬から30分後に痙攣発現。その5分後、痙攣は落ち着くものの、意識レベルの 低下のまま。救急車にて搬送。再入院時、自動運動(口をモグモグさせる、目を パチパチさせる)をしていた。入院し睡眠。その後、夕方にタミフルを再度服用す るものの痙攣無し。 帰宅し、その後発熱を繰り返す。発熱をいじり、膝下をいじりつけて呼びかけに答 えなくなり、眼球上転。全身痙攣間代性痙攣となった。痙攣が止まった後も、呼 びかけに応えずに四肢を動かす意識障害が持続。	38
53	B06028529	8	年	女性	①意識レベルの低下 ②大発作痙攣	2007/3/3	—	2007/3/3	服用10分 後	×	No	—	数十分	Yes	発熱持続	No	—	—	No	No	—	36	
54	B07000135	8	年	男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/16	— 23:00	—	服用後	×	No	—	1時間弱	—	発熱持続 38.6℃	No	—	—	No	—	インフルエンザ治療のため、本剤投与開始。(51mg×2日) 3/16(23:00)本剤2回目服用後、ベッドの上で寝はじめた。何かに怯える様子。 38℃発熱。他院小児科へ入院。(病院に行くまでに症状は軽くなっていた) 3/16異常行動回復。退院。	37	
55	B07001894	8	年	女性	痙攣	2007/3/13	12:30	—	—	—	Yes	—	10分	—	発熱持続	—	No	—	No	—	3月13日(12:30)本剤1回経口投与。(14:00)痙攣発現。痙攣は開いているが、応答な し。10分で軽快。その後、痙攣なし。	41	
56	B07000293	8	年	男性	①異常行動 ②落ち着きのなさ	2007/3/18か 19	—	—	—	—	—	—	No	解熱過程	Yes	—	—	—	No	無	突然起き出す。寝顔が夢か分からないと発する。	40	
57	B07002309	8	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下	2007/4/12	—	—	—	—	—	No	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	No	4月12日(9:50)A型インフルエンザ治療のため、本剤投与開始(投与量不明)。内服 後2階に上がり数度。(13:50)異常行動(ふすまをかじる)発現。2階でボタンという 音が聞こえたため、母が行ってみると患児がふすまをかじっていた。呼んでも、 目の焦点があわなかった。救急車を要請し、当院受診。受診時、ややボーッと した印象を受け答えも部分的にできなかった。当院入院後頭部CT上は明らかな異 常を認めなかったため、入院後経過のみで経過観察 4月13日(10:40)異常行動回復。発熱は続いていたものの、受け答えははっきり し。母もいつもと変わらない。	42	
58	B07028438	8	年	男性	異常行動	2008/1/26	11:00 23:30	2008/1/27	0:00	○	No	直後	1時間	Yes	不明	No	No	No	—	No	No	2008/01/25(17:00頃) インフルエンザ発症。発熱38℃。 2008/01/26(11:00) A型インフルエンザウイルス感染治療のため、40mg×1回投 与開始。38℃。(23:30)本剤40mg×1回投与。38℃。 2008/01/27 (0:00)異常行動発現。入眠直後に覚醒した如く発声あり。内容は「死にたい」「自 分が死んでいるのが見える」「外に連れて行け」等と話し続けた。 (1:00)突然、覚醒した。異常行動回復。 2008/01/28 インフルエンザの経緯:軽快	
59	B07026433	8	年	女性	異常行動	—	晩 朝晩	—	服用2日 目 23:30	○	—	3時間	5分	—	—	—	—	—	—	—	(不明日)インフルエンザ罹患3日目の翌に診察。頃から本剤を服用。体温は 38.5℃。 (不明日)服薬2日目、朝・晩に服用。体温は37.9℃。20:30に就寝。就寝3時間後 に、大声で発声を出し(アー、ギーといったもの)。尋常でない高さで足がバツ ツツ。目を閉じたりしていた。意識はなく、5分後に再度入眠した。今までイン フルエンザでこういった異常行動を起こしたことがなく、今回本剤を服用したこと で異常行動が起ったため、本剤を中止した。		
60	B07025432	8	年	男性	異常行動	2008/1/29	10:00	2008/1/29	11:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/02/10 異常行動が回復。 2008/02/11 異常行動は回復。		
61	B08001238	8	月	女性	異常行動	2008/2/9~ 2008/2/9	1日2回	2008/2/9	13:00	×	—	—	5分	—	—	No	—	—	—	—	—	2008/02/09 A型インフルエンザ治療のため、本剤(15mg×2日)投与開始。 (13:00)舌を母親の胸に打ちつける。無意味な動き(非重篤)発現。体温37.0℃。 (13:05)上記症状治まる。無意味な動き回復。 (14:00)テオドール内服。 (15:30)当院再受診。診察するも神経学的に異常なし。	
62	B08028649	9	年	女性	異常行動	2008/3/16	21:00	2008/3/16	22:00	○	Yes	40分くらい	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	布団を敷き「怖い」と不眠になり、機点は定まらず、飛び出そうとし、母が捕 まえていた。約5分で鎮まる。	44

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一服し て完全回 復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 障害の既往	睡眠覚醒 障害等の家族 歴	光に對 する反応	他剤によ る「異常な 行動」の 副作用歴	異常な行動に 関連する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見たか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたよと云っているのか?)	旧資料No.
63	B06026846	9	年	男性	①虚驚 ②異常行動	2007/2/14	10:30	2007/2/14 2007/2/14 2007/2/14 2007/2/14 2007/2/14 2007/2/14	10:30 14:00 14:40 15:00 15:40 14:00	①○ ②×	No	—	10分	No	発熱持続	No	—	—	—	—	なし	虚驚し嘔吐。(14:40)来院時虚驚は治まっていたが、もうろう状態。 問いかけにわずかに開眼。	43
64	B07000124	9	年	男性	異常行動	2007/2/18	22:00	2007/2/18	24:00	—	No	—	—	Yes	発熱持続	Yes	No	—	—	No	無	平成18年にもタミフル服用により異常行動あり。恐れ、変な言葉。	45
65	B07001261	9	年		①悪夢 ②睡眠覚醒 障害	2007/2/5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤による幻覚がトラウマになり、悪夢、夜叫びが発現。	46
66	B07024539	9	年	女性	落ち着きのなさ	2007/12/7 2007/12/8	夕 8:00	2007/12/8	14:00	○	—	6時間	5分	Yes	—	No	No	No	No	No	No	2007/12/07 A型インフルエンザに併発して、本剤54mg/日投与開始(夕方内服)。 2007/12/08 (8:00)本剤54mg内服。その後寝ていた。(14:00)突然暴れ 出した。(14:05)約5分後に正気に戻り、その後30分位号泣が続いた。	
67	B07022879	9	年	男性	錯乱状態	2008/01/09 2008/01/10	18:00 9:00	2008/1/10 2008/1/10	0:00 12:00	×	—	—	時間(2回目)	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2008/01/08(夕方) 発熱(37.8℃)のため当科受診(18:33)。併用薬のみ処方。 2008/01/09 午前中の外来でインフルエンザAと確定診断。本剤処方。(18:00)タ ミフル1回目内服。 2008/01/10(05:00)寒くなり、叫んだり、動き回るとし、反応が乏しいため救急要 請。近所に搬入。CT、採血、異常なし。精液後、帰宅。本剤内服継続の指示あり。 (8:00)タミフル2回目内服。(12:00)上記と同様の症状が出現(程度はやや軽 かったとのこと)。	
68	B07027258	9	年	男性	錯乱	2008/1/28	12:30	2008/1/28	15:00	○	Yes	2時間	5時間	Yes	—	—	—	—	—	—	No	2008/01/28 (11:50)インフルエンザAと診断。(12:30)本剤48mg服用。(15:00)解 熱して足をバタバタさせて目覚める様な状態であった。目は閉じていて呻ん でも目を覚まらなかった。この様な状態が5時間くらい続いた。その後落ち着いて 夜は普通に睡眠した。せん妄(非重篤)発現(15:00~20:00)。 2008/01/29 午後当院受診した時は、異常は認められなかった。せん妄回復。	
69	B07025290	9	年	男性	異常行動	2008/1/29	10:00	2008/1/29	11:00	—	—	—	—	—	発熱持続中	—	—	—	—	—	—	2008/01/29 インフルエンザAと診断。 (10:00)本剤(52mg/日)、クラシッド(投与量不明)服用。 (11:00)異常行動(非重篤)発現。 本剤内服後1時間して奇声を上げるなど異常行動あり。 他院に救急車で搬送され入院。 2008/02/04 異常行動回復。	
70	B07027838	9	年	男性	錯乱	2008/02/18 2008/02/18 2008/02/19 2008/02/19 2008/02/20 2008/02/20	不明	2008/2/20	夜	○	Yes	—	—	No	解熱過程	No	No	—	—	—	熱性虚脱	2008/02/18(時刻不明)インフルエンザ発症。発熱39.4℃(時刻不明)他院にて、 インフルエンザA型と診断。本剤(57mg×2/日)処方。2/18~20の3日間は服用し たとのこと。服薬状況詳細は不明。併用薬剤はなし。カロナール処方されていた が服用せず。 2008/02/20(夜)興奮状態出現。なかなか眠らず。せん妄状態(非重篤)発現。 2008/02/21(朝5:00)起床して興奮して暴れる。(2/20の事実と一連のものと考え る)(13:00)せん妄状態回復。	
71	B08026131	10	年	男性	異常行動	2007/03/05	朝	2007/03/05	服用 10時間後	—	No	—	5分	Yes	発熱持続	No	—	—	No	—	無	「ぼくの首がここに見える」「お父さんお母さん眠って睡った。やっつー」「うろこが 見える」など。 5分くらい寝たことを覚った(自宅にて)。	49
72	B07000107	10	年	女性	異常行動	2007/3/5	18:00	2007/3/22	22:00	—	—	—	数分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	家電を壊った。	50
73	B07000074	10	年	女性	異常行動	—	—	2008	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	しゃべりまくっていった。	精-2-18
74	B07000270	10	月	女性	①虚驚 ②発熱持続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	投与21分後、脱力・意識消失・チアノーゼ・虚驚。	2
75	B07001663	10	年	男性	錯乱	2007/3/4 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/7 2007/3/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月4日異常な行動はなかったものの「お父さんとお母さんを殺そうとしている」な ど、非現実的なことを放っていた。 3月5日せん妄回復。	51
76	B07000200	11	年	女性	①意識消失 ②虚驚	2007/3/9 2007/3/9	昼 夕	—	—	—	Yes	—	5分	Yes	—	No	—	—	—	No	無	前日から十分な睡眠があったと思われるが、明確な時間までは不明とのこと。	55
77	B07000241	11	年	男性	恐怖	—	2回目	—	夜	×	No	—	1時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	「怖い、怖い」とうわ言を言った。	39
78	B07000100	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/18 2007/3/18	午前 20:00	2007/3/18	23:30	○	No	—	2-3分で 回復	Yes	—	Yes	No	No	No	No	無	(23:30)うつぶせて寝ていた所、急にわけのわからないことを言い出した(2-3分 位)。興奮状態あり。家人がなだめずかしていたら、おとなしくなり休んだ。 (23:50)症状回復。 家人が本人に聴取した所「地球がどんどん小さくなり自分と地球がどんどん大きくなり 怖かった」と話した。	54

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	覚醒直 後に発現 した時間	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復ま での時間	一服し て完全回 復	経過	患者の記 憶	服薬直後 等の既往	服薬直後 等の家族	光に対 する反応	他剤によ る「異常な 行動」の 副作用	異常な行 動に 関する 既往	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、鏡が幻 覚を見ていたよと答えているのか?)	旧資料No
79	B07001737	11	年	男性	①熱感 ②興奮	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	13:00 23:30 星 22:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月18日(3:00)眠っていたが、急に起き上がり「お顔が分かんない」と叫び、後 言かと思っていたが、自分の顔をドンドン叩き始めた。紙をかきむしった(抜く ほどではない)。1時間の間に3回ほど、(4:00)興奮状態回復。 3月20日(2:00)興奮状態発現。前日とはほぼ同様の症状であった。(4:00)興奮状態 回復。	58
80	B07001805	11	月	男性	痙攣	2007/4/1 2007/4/2 2007/4/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月1日けいれんを2回程度発症。インフルエンザのため本剤処方。本剤服用後 も痙攣を認める。 4月2日入院。本剤2回服用。 4月3日(22:00)発熱は続き、数秒〜10数秒の痙攣が頻発。	3
81	B07000267	12	年	男性	痙攣	2008/3/18午 後〜3/18午前	-	36792	夜	-	No	-	-	-	発熱持続	Yes	No	No	No	-	-	うわごと(非意識)、テレビが遠ってくる夢、道路で寝ている夢、寝ながら手を上 げていた。	59
82	B07002075	12	年	女性	大発作痙攣	2007/3/19 2007/3/20 2007/3/21	-	-	-	-	No	-	2〜3秒	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	-	3月22日(11:00)外来受診時(38〜39℃、咳も強い)。胸部〜P撮影中にGTC5秒。そ の後、1分後に意識も戻した。点滴確保し、構想目的のため、他院へ紹介受診と なる。胸部〜上気管支影の増強は見られたが、明らかな肺炎像はなかった。	61
83	B07000227	12	年	女性	意識消失	-	17:00〜 18:00	-	-	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	No	-	-	-	服用後、就寝。夜中に急にトイレと違う方向へ歩き出し倒れた。その後、トイレへ 向かって歩いていたがトイレの前でもう一度倒れる。両親が近くの内科へ連れて 行きタミフル服用を中止。点滴を受けて回復した。発熱4日後当院再受診。	58
84	B07000202	12	年	男性	痙攣	2007/3/20	-	2007/3/20	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月20日(16:00)痙攣発現。 3月22日痙攣回復。	57
85	B07000289	12	年	女性	①意識消失 ②てんかん	-	-	①2007/2/15 ②2007/2/19	①21:00 ②18:20	-	No	-	2か3分	Yes	発熱後2 日〜3日	No	No	No	-	No	-	①意識喪失、痙攣発現。 の発症直に意識喪失、2〜3分間倒れる。 椅子に座って居たが、立った瞬間にフラフラしたため、母に介抱されながら階段 を昇降した。体に力が入らず脱力状態。母が階段の上から両脇をかかえ、祖母 が階段の下から両足を併せて運んでいた。倒れていたが、昇る途中、呼 名に反応しない意識消失状態が1分間あり、祖母は1分ほど両足を両脇に感 じた。その後意識は消失し、呼名に反応する状態となり救急車で当院来院。本人 は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。 (19:40)救急車で来院時は意識清明だが、すぐに入浴するような状態、呼名には すぐ反応し、応答も運動も正常、麻痺なし。	60
86	B06026622	13	年	女性	意識消失	2007/2/28	9:30	2007/2/28	19:20	×	No	-	1分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	-		64
87	B06026128	13	年	男性	①妄想 ②幻覚 ③異常行動	①②③ 2007/02/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/02/21 インフルエンザ治療のため、本剤の投与開始。 幻覚、妄想、異常行動発現。 時期不明 幻覚、妄想、異常行動回復。	63
88	B07000211	13	年	男性	①うつ病 ②無感情 ③自殺企図	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12月1日抑うつ、無気力、自殺企図発現。マスコミの報道により3月28日に追 殺より薬品に電話連絡あり。タミフル服用後(2003年12月1日ごろ)から最近ま ですつと上記の副作用が出ている。長期継続することもあるのか?との問合せに 内容により、中々DICIにTEL。12月1日に発現との報告であるが、正確にこの日が 発現日であったかどうか不明とのこと。	65
89	B07000256	13	年	女性	意識レベルの低下	2007/3/10 2007/3/11 2007/3/12 2007/3/12	夕方 期 夕方 期 夕方	-	-	-	No	-	No	No	解熱過程	Yes	-	-	No	No	-	3月13日 ぼんやりして居る様子(学校より帰宅後)。3月14日 登校。学校 では一日ぼんやりしたり、奇声を上げていた。帰宅時間になっても、自宅が分か らないため、友人に連れられて帰宅。帰宅後、ぼんやり。友人・家族の名前、自分 の名前が言えない。⇒救急外来受診後、入院となる。3月15日 意識がうろた えは悪い、記憶曖昧。3月16日 意識が回復する。記憶変化なし。3月17日 退院で重症経過。退院となる。3月20日 退院後診察。記憶は戻っており、回復を 確認。	66
90	B07000088	14	年	女性	異常行動	2007/3/7	11:00	2007/3/8	2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月8日(2:00)トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れ て意識不明の状態になった。(2:30)救急車で運ばれてきたが、その際は意識は 回復していた。	68
91	B07000257	14	年	男性	①幻覚 ②幻聴 ③異常行動	-	-	-	服用後	○	Yes	-	30分	No	解熱過程	No	No	No	No	No	-	(2007/3/14)本剤3回目を服用後様子がおかしくなりました。幻聴、幻覚、異 常行動発現。 (2007/3/18)幻聴、幻覚、異常行動回復。	71
92	B07000242	14	年	女性	痙攣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	時期不明 本剤の投与開始。 時期不明 痙攣発症。	70
93	B07000123	14	年	男性	異常行動	2007/1/8	16:00	2007/1/8	18:30	-	No	-	Yes	No	発熱持続 中	-	No	No	-	No	-	2007/1/8 来院時、体温:39.2℃。(16:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤 75mg×1/回内服。(16:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「後を殺す 気か?」と言った。(20:00)2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。熱39.0℃。 「死ね」と言うのか?という言葉を母の呼びかけ「どうしたの?」により意識が戻 った。その後は普通。ご飯食べた。(22:00)2F寝室で就寝。(24:00)意識もうろう?何 で、何で?と言いつつ泣いた。ベッドに倒れて、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お 母さんがなんているの?」と言った。熱37℃。 2007/1/9 (8:00)熱が下がって普通。異常行動回復。インフルエンザの経過、経	69

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃな い:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復ま での時間	一服し て完全回 復	体温	患者の記 憶	解熱薬等 症等の既 往	解熱薬等 症等の家 族歴	光に対す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の 副作用歴	異常な行 動に付随 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料No.	
94	B07000214	15	年	男性	異常行動	—	—	—	—	○	Yes	—	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	後でいたのが起き出し、しながわさがす等意味不明の発言あり、何かを探す 様な動きを繰り返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後異常な し、本人全く記憶なし。	72	
95	B07014580	18	年	女性	自殺念慮	2007/2/14 2007/2/15 2007/2/15 2007/2/16 2007/2/17	夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/2/22	—	×	No	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/02/14夜 インフルエンザと診断、本剤処方。 2007/02/18 朝より解熱。 2007/02/22夜 ポーっとした表情で「このまま死んだら嫌かな」「お世話になりま した」の様な発言があるとの電話があり、自殺願望かもしれないから、そのような 発言が再びあれば病院搬送を指示する。 2007/02/26 自殺願望的な発言は消失したが、念のため、他院精神神経科に 紹介する。 2007/03/01頃 自殺願望は回復。	—	
96	B07000113	16	年	男性	痙攣	2007/3/2	午前中	2007/3/2	16:50	×	直後の定 義がわか りません が、覚醒 後トイレ に行っ てからで す。	4.8	3~4分	—	解熱過程	—	No	No	—	—	—	痙攣性痙攣	73	
97	B07002390	16	年	男性	①転倒 ②異常行動 ③浮動性めまい	2007/1/22 2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25 2007/1/26	(夕) (朝) (夕) (朝) (夕) (朝) (夕) (朝)	—	—	—	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	No	—	No	—	007/01/22 (夕)インフルエンザA型治療の為、本剤75mg×1/日投与開始。体温38.4℃。 服用後就寝。 (夜)ふらつき、異常行動、転倒(非重篤)発現。 ふらつき発症より異常行動として転倒。転倒の結果、頭部外傷。 2007/01/23 頭部外傷、4針縫合。 転倒、頭部外傷、ふらつき、異常行動回復。 2007/01/26 (朝)本剤75mg投与。以後、服用せず。	74	
98	B07000068	17	年	男性	①嘔吐 ②痙攣 ③意識消失	2007/3/14	17:00	2007/3/14	21:00	×	Yes	—	5秒	Yes	発熱持続	Yes	No	—	No	No	無	・母親がトイレに付き添った所、突然意識消失し痙攣を起こした。声をかけると5 秒後に回復。 ・その後、返答がおかし、トイレに行こうとしたにもかかわらず、ご飯を食べにリ ビングに行こうとしたと、トンチンカンなことを言った。	75	
99	B07000899	17	年	男性	激越	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤1cap服用した後に、興奮(興奮して暴れた)発現。	77	
100	B07000217	17	年	男性	精神障害	—	—	—	—	—	—	—	5日間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	発汗量が減少し、本人が眠りが保てずとした自覚症状を訴えた。落ち着かなく なる。脳波で異常が認められる。SPECTでは、両側頭葉一後頭葉の血流低下 あり。インフルエンザ脳症又はタミフルに副作用として入院。	76	
101	B07002263	17	年	男性	統合失調症様障害	2003/1/11 2003/1/12 2003/1/13 2003/1/14 2003/1/15 2003/1/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1月18日急性混乱状態発現(非重篤)。1/16頃より行動に整合性が無くなった。意 識は清明、見当識ありだが、全話に混乱。神経学的には明らかな脳症様状な し。MRI、ルンバールを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を 疑い他院紹介。	78	
102	B07000064	18	年	男性	意識消失	2007/3	21:00	2007/3	22:00頃	×	No	—	1分	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	無	意識レベル低下。 両親の呼びかけに応じない。	79	
103	B07000228	20	年	男性	①高熱 ②うつ病 ③痙攣	—	朝	—	—	—	No	—	—	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	—	死にたいと訴える。	80	
104	B07000060	21	年	女性	大発作痙攣	2007/3/27	11:00	2007/3/27	15:30	×	No	—	2分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	痙攣発現後、ジアゼパム注で30分ほど鎮静。	81	
105	B07001419	22	年	男性	①うつ病 ②自殺念慮	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	3月12日内服開始2回くらいで、気持ちが落ちて自覚したくなる感じ、うつ状態発 現。 3月19日 1~2日たって気持ちも落ち着いた。 3月22日再び気持ちが落ち込んだ。	82	
106	B07000089	25	年	男性	意識消失	2007/3/22 2007/3/22	朝 夕	2007/3/24	—	×	No	—	Yes 事故 により回	Yes	—	—	—	—	—	—	—	無	車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり入院。	84
107	B07022877	26	年	男性	意識障害状態	2007/12/28	午前	2007/12/28	19:00	×	—	—	30分	Yes	発熱持続中	—	—	—	—	No	No	2007/12/27(朝)発熱、頭痛、全身の関節痛あり。 2007/12/28(9:00)当院受診。インフルエンザAと診断し、本剤処方。帰宅後本剤 75mg内服し、数時間就寝。 (19:00)異常行動、意識が現れし、15分経く、救急要請。(首をクネクネさせたり、 腕をしきりに組んだりする。手足がない。ここはどこ?など。)(18:30)意識障害発 現。救急が到着する頃には改善。(20:00)経過観察のため入院。意識障害回復。 2007/12/29(8:30)退院。	—	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃな い:×)	覚醒直 後に発現 した	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一服りし て完全回 復	体温	患者の記 憶	嘔吐・下 痢等の記 憶	嘔吐・下 痢等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤に よる「異 常な行 動」の 副作用	異常な行 動に 関する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたかどうか?など)	旧資料No
108	B07025547	28	年	男性	意識消失	2008/1/21 2008/1/22 2008/1/22 2008/1/23	午後 午前 午後 午後	2008/1/24	9:50	×	—	—	?	Yes	不明	No	No	—	No	No	No	2008/01/21 インフルエンザ様症状治療のため、本剤75mg×2回/日投与開始 (1/21は午前のみ服用)。 2008/01/24(9:50)車を運転中、意識消失発作(非重篤)発現。道路の左側に乗り 上げ、1回転し、道路に落下し意識回復した。(17:00)意識消失発作 回復。本剤 投与中止。	
109	B07000133	28	年	男性	①意識レベルの低下 ②痙攣	2007/2/17 2007/2/18	—	—	—	—	—	—	—	No	発熱持続	No	—	—	—	—	—	意識もうろう、うわ言発現(非重篤)。	85
110	B07000150	28	年	男性	異常行動	—	夜間	—	本剤服用 3時間後	—	No	—	No	No	発熱持続	No	No	No	Yes	No	—	「死神が見える」と訴える。	86
111	B07000151	28	年	男性	異常行動	2007/3/7 2007/3/7 2007/3/8 2007/3/8 2007/3/9 2007/3/9	8:00 16:00 8:00 18:00 8:00 18:00	—	—	○	Yes	—	Yes	No	発熱持続	No	No	No	No	No	無	3月10日 1:00/バジャマ、オムツを脱いで「あっちへ行く」と起きあがる。14:00「電 話が鳴っている」「テレビを見ていたがテレビがない」「この部屋どこ」と異常言動 を発現。入院中で、寝たり起きたりを繰り返していた。症状は夜寝起きの一瞬だけ であった。	87
112	B07000105	29	年	女性	①意識消失 ②異常行動	夕食後	—	4:00	—	○	Yes	—	—	—	—	No	No	No	—	—	無	トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。	89
113	B07002383	29	年	男性	痙攣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	時期不明 痙攣発現(非重篤)。 時期不明 痙攣回復。	90
114	B07001809	30	歳代	男性	意識消失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	運転中に一瞬自分が何をしているのかわからないような状態に陥った。	17
115	B07000216	33	年	男性	異常行動	—	—	—	—	—	Yes	—	10~15分	No	—	No	No	No	—	No	—	異常行動発現。	91
116	B08026181	38	年	女性	①幻覚 ②異常行動 ③幻聴	①2007/2/25 2007/2/25 ②2008	①— ②—	①② 2007/2/25 2007/2/27 2007/2/28	×	No	—	No	No	No	—	No	—	—	No	—	精神発達 遅滞	トイレの柱に突っ立っている。ベッドが飛んでいる等の発現。テレビの音が聞こ える。監視されている、実な声が聞こえると言言する。	93
117	B07000204	38	年	女性	自傷意識	—	—	—	—	—	No	—	—	—	解熱途中	Yes	—	—	—	—	無	腕を切りたくなった。	94
118	B07001357	39	年	女性	①幻聴 ②発作 ③不安	2007/3/1 2007/3/2	—	—	—	—	Yes	—	No	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	—	3月2日(朝)顔部、両側腋窩部の発疹に気づく。デクデク、ヒリヒリした感じ。(午後) 解熱。(夜)寝てから幻聴(二階に就寝して、玄関の錠を開ける音、玄関の開 く音、スリッパの音)あり。 3月3日(5:00)寝付いてから寝られるような怪しい夢をずっと見ていて辛くなりデバ ス1錠内服。その後眠れた。	95
119	B07000092	40	年	男性	異常行動	2007/3/3 2007/3/4 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/7	— — — — —	2007/3/7	—	○	No	—	—	Yes	解熱過程	Yes	—	—	No	No	—	急に起きて通所の針を自分で抜いてまた刺したという異常行動(事故後)を起 こした。	96
120	B07000138	40	年	女性	意識レベルの低下	—	朝	—	夕	—	—	—	—	—	—	No	—	—	No	No	無	2007/03/12 本剤75mg投与。 (夕方)主人が帰宅してみると本日より病院に行ったこと、昨日の事も全く記憶 にない。現在のことは分かる。意識障害(記憶)発現。 発熱は38℃台に下がりつついた。 脳症を疑って他院紹介入院となる。 時期不明 意識障害(記憶)回復。	97
121	B07024910	40	年	女性	意識消失	2007/12/10	18:00	2007/12/10	23:00	×	Yes	18:00— 23:00	10分	Yes	発熱持続 中	Yes	No	—	—	No	No	2007/12/10(夕方)高熱(38.3℃)、鼻水、咳、咽頭痛の症状で来院。インフルエン ザAと診断。(18:00)処方された、PL1g×2/日、本剤75mg×1/日、コカール400mg ×1/日内服し眠ってしまった。(23:00)眠がさめて、トイレに行こうとしたが、気分 不良重く、階段途中にて、動くこともできない状態となり、意識消失(非重篤)し 気がついたら、階段の下に転落していた。救急車にて、夜間病院受診。床褥に 対して坐臥姿勢を受けた。(23:10)意識消失回復。 2007/12/11(12:00)頭部下血腫心配し、脳外科にて脳CT検査を受けたが、異常な し。 2007/12/12インフルエンザの転帰:軽快	
122	B07001892	42	年	女性	①下痢 ②味覚異常 ③嗅覚鈍感	2007/3/27 2007/3/28 2007/3/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月28日(夕方)味覚障害(味が全く感じない、しょっぱい味しかない)、嗅覚障害 (においがわからない)発現。	98
123	B07000245	45	年	男性	自殺既述	2006/4以前	夕刻	2006/4以前	夕刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自殺(死亡)	99
124	B08026807	47	年	女性	①痙攣 ②意識消失	2007/2/21	—	2007/2/21 2007/2/21	17:00 17:30	×	No	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	No	—	—	—	意識障害で倒れ、顔を打ったが、30分くらいで治った。	101

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一層りし て完全回 復	体温	患者の記 憶	睡眠薬等 の既往	睡眠薬等 の家族	光に対す る反応	他剤によ る「異常な 行動」の 副作用	異常な行 動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたようだと書いているのか?)	旧資料No	
125	B07023856	48	年	男性	痙攣	2008/1/22	17:00	2008/1/22	18:00	×	—	—	不明	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	2007年11月	2008/01/22 (17:00)インフルエンザAに對して、本剤75mg内服開始。(18:00)せん妄状態となり、大人二人がかりでやっと押さえるほど暴れたため、救急外来受診。受診時は症状なし。入院。 2008/02/05 せん妄回復。	
126	B07000129	49	年	女性	異常行動	2007/3/26 2007/3/27	19:00 7:00	2007/3/27	8:30 15:00	×	No	—	—	—	No	—	—	—	No	—	—	通動する際、車で自損事故を3回繰り返した。	102
127	B07001423	50	年	女性	頭痛	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月26日突然左側顔～左後頭部にシビれる様な頭痛発現。以前にあった片頭痛とは異なる頭痛と言われた。	103
128	B07000229	51	年	女性	①幻覚 ②幻聴 ③異常感 ④悪心	2007/2/26 2007/2/26	10:30 22:00	—	—	○	Yes	—	—	—	No	—	—	—	No	無	無	気分不良、嘔気が出、トイレから出て12歩でふらつきがあり、足が倍程に太くなる幻覚が出現した。又この足が前方に向かい動いているように見えたとの事である。本人の弁ではこの時は意識があった。 その後テーブルの上のものをひっくり返したが、覚えが無い。 夜、本剤服用後入眠。	108
129	B07000160	51	年	女性	意識消失	—	—	—	—	—	—	数分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	肝硬変	2007/02/26 本剤75mg/2回/日を投与開始。(～3/2) 意識消失発作が出現。 意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した。生体肝移植後で大学病院に連院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を継続したが、その後、意識障害はなかった。 2007/03/05 意識消失発作回復。	105	
130	B07000155	53	年	女性	意識レベルの低下	—	朝	—	—	×	No	—	数分	—	解熱過程	No	No	No	No	無	無	冷汗がでて意識喪失で倒れている 意識消失が数分継続。	104
131	B07000231	53	年	女性	意識喪失状態	2007/3/2 2007/3/2	17:00 20:00	2007/3/3	0:00 0:28	—	—	—	数時間	Yes	解熱過程	No	No	—	No	No	無	トイレで倒れ、意識喪失1分。倒れたときの記憶は無い。坐剤を使用後、就寝したものとと思われるが、未確認のため不明。	107
132	B07000267	57	年	女性	両手清きのなさ	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	無	2007/03/01 (8:30)インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、本剤75mg内服後退新開始 (10:30)心不全、不整の為、他院へ入院。 (夕方)精神症状も改善するが、不穏状態であった時の記憶は皆無であった。 3月28日(4:00)痙攣を発症。(10:00)死亡 死亡疾患 肺炎	109
133	B07000104	57	年	男性	①痙攣 ②肺炎	2007/3/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月28日(4:00)痙攣を発症。(10:00)死亡 死亡疾患 肺炎	108
134	B07000276	59	年	女性	①痙攣 ②意識レベルの低下 ③嘔吐	—	—	—	—	×	No	—	No	解熱過程	—	—	—	—	—	無	無	痙攣、意識レベル低下(非重篤)、食事で食べ物を詰まらせ窒息(異常な食べ方をした可能性)発現。食事をかき込むように食べ直した後、昏睡状態。	110
135	B08001548	65	年	女性	異常行動	2008/3/25～ 2008/3/27	1日2回	2008/3/27	12:00	×	No	—	—	Yes	解熱後	Yes	No	No	—	No	神経症	2008/03/25 インフルエンザA型治療のため、本剤服用開始(2cap/日) 2008/03/27 (12:00)5回服用後、怒りがこみ上げる。物を投げたといった症状。異常行動(非重篤)発現。体温:38.5℃。本剤服用中止。同日回復。	
136	B07001731	66	年	女性	①意識喪失状態 ②痙攣	2007/3/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月28日(7:30)食事中、腹痛、気分不快になり意識消失(5分間程)。夫の訴では尿失禁もあり、その後回復した。	111
137	B07002282	66	年	女性	うつ病	2007/3/13 2007/3/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月14日うつ状態発現(非重篤)、夕方分まで内服したが、あまりに症状がきついのので手首を切つて死にたいと思うという症状が出現、夕方内服以降、本剤、ゼリナジン投与中止。	112
138	B06028127	67	年	女性	意識消失	2007/3/3 2007/4/7	11:00 17:00	2007/03/03	19:00	×	No	—	1時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2007/03/03 (11:00)本剤75mg×1回投与。 (18:00)再受診。体温:37.8℃ 本剤75mg×1/回投与。 (20:00)本剤服用後、医師から帰る途中、運転時、自宅近くで意識消失。ガードレールにぶつかりブレーキがけず前の部分が大幅。 本人はその前後、車での事故当時の記憶がないほどの様にして事故になったか覚えていない。 救急車で運ばれ、頭部CTとるも異常なし。 2007/03/04 (8:00)当院受診。体温38.2℃と解熱。事故について、意識がなかったことを聞く。本剤服用後、投与中止。以後、順調に経過。 2007/03/05 インフルエンザ:軽快・回復	113

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の追加調査結果

No.	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動 発現時刻			就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	覚醒後、 夜に発現	就寝中の 場合、就 寝時刻か ら発現ま での時間	回復まで の時間	一服し て完全回 復	体温	起者の記 録	睡眠覚醒 症等の概 況	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対す る反応	他剤によ る「異常 な行動」 の副作用 歴	異常な行 動に 関する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻 覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料No
139	B07027779	67	年	女性	異常行動 脳血管障害	2008/1/17 2008/1/18 2008/1/18 2008/1/19	夕 期 夕 期	2008/1/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	パーキンソン	不明 A院にて以前より、パーキンソンの治療を受けていた。 2008/1/17 発熱と嘔吐を訴え、当院に来院。本人の希望によりキットで診断したところ、A型インフルエンザと判定され本剤を4回分処方。本剤投与開始(〜1/19)。 2008/01/18 服用後、体を横にゴロゴロするような不穏な動きを度々していた。足の不随運動が強く立つ事が困難であった。トイレにうづくまっていたらそうだった。異常行動(非意識)発現。 2008/1/19 体を横に動かす動きがあった。B院受診。本剤中止の指示あり(それまでに400mg内服)。 2008/1/20 昼頃体調が急変し、救急車でC院に搬送。不確実な情報で実際どうであったかは不明。(12:00)死亡。 直接の死因は脳梗塞と診断されたが、家族は異常行動が見られた点から、本剤が脳梗塞を誘発した、もしくは本剤によりパーキンソンが悪化し、死亡に至ったと主張している。	
140	B07000205	69	年	女性	意識消失	—	—	—	×	No	—	1〜2分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	—	No	無	無	トイレで排泄した後、ふわっとした感じになり、廊下でまへのめりに転倒、歯がへこむほど顔を床にうつ。意識が戻ってからは、気分爽快。	114
141	B07001524	69	年	男性	①幻覚 ②認知症	2007/3/26 2007/3/26 2007/3/27 2007/3/27 2007/3/28 2007/3/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3月28日幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人がいって集団見合いをしている」。本剤服用後しばらくは認知症の程度が強くなった。	115
142	B07025093	70	年	男性	自殺念慮	2008/2/7	—	2008/2/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/02/08 A緊急センターにてロキソニン、PL、セルベックス、SP等処方。 2008/02/07 B病院にて本剤 75 mg x 2、カロナール 200 mg x 2 処方。 2008/02/08 近くの川に飛び込みたい、酒をたらふく飲みたいとの発言あり。	
143	B07000290	72	年	男性	妄想	—	—	2007/3/14 2007/3/15	23:00 16:00	○	Yes 睡眠中も 覚醒後も 起きた	17時間	Yes	発熱持続 解熱過程	幻覚・熱 で動けな かった	No	No	—	No	—	—	常に後ろから極かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状。	118
144	B07027778	74	年	男性	異常行動	2008/3/6	—	2008/3/8	×	—	—	—	—	—	解熱後	No	—	—	—	—	—	2008/03/08 寒気(発熱)があり、インフルエンザA型陽性にて本剤投与開始。 2008/03/08 解熱していたが、自動車運転中に中央分離帯へ接触しそうになる行動が7〜8回あり。本人はよく覚えていない。同乗していた妻が、危ないから止めるようハンドルを補助したりした。本人はそのことを認めようとしなが、妻より問い合わせを受けた。	
145	B07001508	80	歳代		認知症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤服用後、うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからない事を言うなど痴呆症のような状態になってしまった。インフルエンザ発症前は、痴呆症などなく元気な方であった。	47
146	B07000126	82	年	女性	幻覚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	「孫の体がずたずたになっている」と発言。	119
147	B07001708			男性	パーキンソン病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	本剤内服後、パーキンソン病発現。	精-3-11